

第6回 アジア養蜂研究協会大会 World ApiExpo2002

2002年2月24日～3月1日
インド・バンガロール

セカンドアナウンスメント

アジア養蜂研究協会(AAA)はアジア各国のミツバチ研究者と養蜂家の友好の輪を広げ、情報交換を促すために1992年に設立され、事務局を玉川大学ミツバチ科学研究施設におく。2年ごとに開催されるAAA大会は昨年3月の第5回大会(タイ・チェンマイ)に続き、第6回大会が2002年2月にインド・バンガロールで開かれる。

ミツバチは多くの植物のポリネーターとして効果的に働く、地球生態系のなかで不可欠な資源である。生態資源の保護に役立つ安価かつ総合的な指標といえる。世界のミツバチと養蜂に対する認識が進み、ミツバチ資源を保護し、その多様な経済的メリットを利用しようとする企てが行われている。アジア地域に在来のミツバチ種や、導入されたセイヨウミツバチを用いた養蜂の開発や、飼養方法の改良を各国が協力して推進し、持続可能な農業システムの確立と、生物多様性の保持へと結びつけなければいけない。本大会はミツバチと養蜂に関心を持つ方々が、色々な関連分野の最新の技術を分かち合い、検討する絶好の機会となる。

養蜂を取り巻く世界では価値観や社会規範が大きく変わり、科学の進歩は急速である。そこで“新千年紀の養蜂の課題と展望”をテーマとする国際会議は時期を得た催しといえよう。大会はセンチュリー基金が主催し、インド政府のカーディ村落産業委員会(KVIC)、と小企業・農業・村落開発省、カルナタカ州政府商工業部の後援と、バンガロール大学及び国際社会性昆虫学会(IUSSI)インド支部の協賛を得ている。

大会開催日時と場所

バンガロール市のホテルアショカ(Hotel Ashok)を会場に、ワークショップが2002年2月24日、大会が翌25日から3月1日まで開催される。会議の使用言語は英語である。

参加登録

大会参加は、登録申込用紙に必要事項を記入し、登録料(送金小切手か、払い込み送金記録を同封。クレジットカードも可)と共に組織委員会事務局に送付する(日本からの参加はアジア養蜂研究協会事務局でも受け付ける)。論文発表者は一般参加者として登録する(同伴者、学生としての登録では発表不可)。

登録料と支払方法

登録料	(12月15日まで)	(12月16日以降)
一般参加者	US\$ 275	US\$ 300
同伴者	US\$ 150	US\$ 175
学生	US\$ 150	US\$ 175

一般参加登録料にはすべてのセッションと1日見学旅行への参加、大会配布物(要旨集、論文集、関係書類他)、会議休憩時のお茶、昼食、ワールドアピエクスポ2002への入場、歓迎会、お別れパーティーとショーが含まれる。

同伴者料金には大会配布物(要旨集、論文集、関係書類他)と1日見学旅行が含まれない。希望者は登録申込用紙の所定欄に見学旅行参加と記入し、追加料金US\$20を支払う。

学生登録希望者は所属学部責任者の署名入り入学証明書を登録申込用紙に添付すること。

大会関連諸費用の支払いは登録申し込みと並行して行う。送金のみが先に行われ、参加を確認する書類がない場合は、振り込まれたお金が銀行から送金者に戻される。送金方法の詳細は登録申込用紙を参照。

キャンセルと登録料の返金

参加登録の取り消しは大会事務局へ文書で通知する。2002年2月5日までに受理した場合は取り消し手数料US\$50を差し引いて返金するが、時期によっては返金は大会後となる。2月5日以降は特別な場合のみ返金を認め

る。

学術プログラム

大会テーマ：新千年紀の養蜂の課題と展望

トピックス：

A. 招聘セッション

1) アジアに適した持続可能な養蜂形態を求めて、2) インドの養蜂政策と事業計画、3) 地球レベルの養蜂パートナーシップ、4) 途上国における養蜂関連情報の記録、文書化と知識の共有。

B. 一般セッション

ミツバチ生物学：①トウヨウミツバチの生物学と飼養管理法、②アジアにおけるセイヨウミツバチの生物学と飼養管理法、③野生のミツバチ類の生物学と管理方法

養蜂植物と花粉媒介：④ミツバチを用いた作物花粉媒介、⑤養蜂植物と移動養蜂

ミツバチの病害敵：⑥ミツバチの病害敵

ミツバチ生産物：⑦生産物の加工処理と市場調査、⑧アピセラピー

養蜂技術：⑨養蜂技術と蜂具

ミツバチと環境：⑩環境の健康さと殺虫剤

養蜂振興：⑪普及事業とジェンダー問題、⑫カントリーレポート

論文発表

論文募集：上記トピックスに関連する研究発表を募集する。発表は口頭かポスター形式。著者との討議時間も設定する。要綱にしたがって提出された発表要旨は要旨集に掲載する。大会で発表された論文は大幅に規定から外れない限り基本的に論文集に掲載される。

発表要旨：発表希望者は論文提出用紙に必要事項を記入し、英文 500 語以内の要旨をアジア養蜂研究協会事務局へ e メールか郵送で提出する。要旨の受領と発表セッション、発表形式は事務局から著者に通知される。提出締め切りは 2001 年 12 月 15 日。

口頭発表と機器：発表は 15 分（うち 3 分質疑）。スライド、OHP、コンピュータ映写、ビデオモニターが大会場で使用できる。インドの電気

は 50Hz、220V の交流。

ポスター発表：

*ポスターの大きさは縦 1.5m 横 1m 以内。

*表題は縦 25mm 以上の太字大文字を使用。

*著者名は縦 15mm 以上の太字使用。ハガキ大の写真も添付する。所属は 10mm 以上、本文は 8mm 以上の太字で表記。

*表と図がポスターの約半分を占めるようにレイアウトを工夫する。

論文集：大会論文集がバンガロールのセンチリー基金から出版される。発表内容に基づき引用文献、図表を含めて 2000 語以内（最大 6 印刷ページ分）にまとめたものを（印刷体とフロッピーまたは E-mail 文書で）AAA 事務局に 3 月 8 日までに提出する。

学術ビデオ、スライドの募集

2 月 26 日の夕方にアジアのミツバチに関連したビデオとスライドの映写会を行う。ビデオは VHS/PAL 規格で 20 分以内、スライドも同時刻内で映せる範囲。希望者は論文申込用紙の所定欄に記入、12 月 15 日までに提出する。

要旨、論文送付先は：

〒194-8610 町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学ミツバチ科学研究施設内

アジア養蜂研究協会

Tel/Fax: 042-739-8685

Email: HSRC@agr.tamagawa.ac.jp

ワークショップ

恒例のワークショップが開かれる。南インドでは各地でセイヨウミツバチの導入が試みられたが、わずかなケースを除きうまくいかなかった。トウヨウミツバチを用いた持続的な養蜂を目指し、各国の多彩な経験を話し合う。アジアの農作物とそのポリネーションについても意見を交換したい。

A. 経済的重要作物のポリネーション要件

バンガロール周辺は気候に恵まれ、進んだ農業技術で多様な農作物が生産されているが、その生産性は低い。送粉昆虫不足がその原因と思われるが、実際的な研究は進んでいない。農作物の花粉媒介と送粉昆虫について考える。

B. トウヨウミツバチ養蜂; 成功と失敗

在来種であるトウヨウミツバチによる養蜂の普及のため、飼養法の改良や経済性向上の道を探る。各国のトウヨウミツバチ養蜂の成功例、失敗例を皆で検討したい。

開催日時と会場: 2002年2月24日, ホテルアショカ, 午前9時受付開始, 午後7時閉会予定。

参加費用と申し込み: 2001年12月30日まではUS\$30, 以降はUS\$50。希望者はワークショップ登録用紙に記入の上, 大会事務局に申し込む。詳細は登録申込用紙参照。

ワークショップの内容に関する問合せ先:

Dr. C. C. Reddy
Department of Zoology, Bangalore University,
Jnanabharathi Campus, Bangalore, 560 056,
India.

Tel: 91-80-3212917 Fax: 91-80-3219295

Email: cenfound@yahoo.co.uk,

chinna_c_reddy@hotmail.com

見学旅行

2月27日に養蜂関連施設見学旅行を実施。モデル蜂場訪問に加え, 一本の木に300群以上のオオミツバチが営巣する, 壮観な景色をご覧いただく。昼食も準備される。

この見学旅行は一般参加登録者と学生登録者が対象で席に限りがある。参加希望者は登録申込用紙所定欄に明記のこと。同伴者も追加料金US\$20を支払うと参加できる。

ラウンドテーブル

大会期間中に小集會を企画希望の方は, 組織委員会またはアジア養蜂研究協会に連絡いただければ, 会場の手配, 参加者への通達などの準備, 協力を行なう。

その他のプログラム

歓迎レセプション: 2月25日開会当日の午後6時半からアショカホテルで開催。

お別れパーティ: 最終日には同ホテル晩餐会場で開催, カルチャーショウが付随する。大会参加者はだれでも参加可能。

アジア養蜂研究協会定期総会

隔年開催の総会が2月28日の夕方に予定されている。アジアのミツバチと養蜂に関心を持つ方は誰でも総会に出席できる。アジア養蜂研究協会の役員会は24日夜の開催予定。

ワールドアピエクスポ2002

最新の養蜂器具, 技術, サービス, ミツバチ生産物の展示会・見本市が大会と同時に開催される。養蜂企業, 蜂具メーカー, ハチミツ, 花粉流通業者, 養蜂家など関係の皆様の出展をお願いしたい。展示会は大会に欠くべからざる存在である。各国からの出展者が互いに知り合うことで, 世界の新しい製品やサービス, 技術について認識を深め, アジア市場の動向もうかがえる貴重な機会となろう。

開催場所はホテルアショカ展示会場。幅8m, 奥行き6mの展示ブース賃貸料は1コマUS\$800, 2コマUS\$1300, 3コマUS\$2000(コーナーブースは2割増)。またレンタル料には1ブースにつき一人の参加登録料金が含まれる。申し込みは展示会登録用紙に記入の上, 大会組織委員会へ。

大会組織委員会 Dr. Anita Menon
Conference Secretary, 6th AAA Conference
C/o Century Foundation #193, Double Road
(KMJ Education Trust Bldg.), Indiranagar 2
nd Stage, Bangalore, 560038 India.
Tel : 91-80-5249900, Fax: 91-80-3348346
Email: cenfound@sparr.com
cenfound@yahoo.co.uk
sivaram900@yahoo.co.uk

エクスポ詳細はカルナタカ州商工省養蜂担当
Dr. M.S.Reddy まで。

Dr. M.S.Reddy, Project Officer (Apiculture)
Department of Industries and Commerce
Government of Karnataka
No 49, Khanija Bhavan, Race Course Road,
Bangalore 560 001, India.

Tel: +91-80-2389901~08 Ext. 223

Email: jenureddy@yahoo.co.in